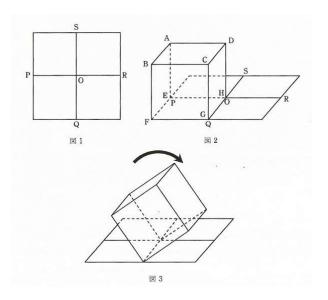
図1のような、1辺の長さが10cmの正方形4つからなるマス目が書かれた紙に、5点 O、P、Q、R、Sがあります。まず、図2のように1辺の長さが10cmの立方体ABCD-EFGHを辺HEがOPに、辺HGがOQに重なるように紙の上に置きます。

次に、以下の操作を順におこない、図3のように紙の上で立方体を回転させていきます。



(操作 1)直線 OQ を軸として立方体を 90 度回転させる。

(操作 2)直線 OR を軸として立方体を 90 度回転させる。

(操作3)直線 OS を軸として立方体を 90 度回転させる。

(操作 4)直線 OP を軸として立方体を 90 度回転させる。

このとき、次の問いに答えなさい。ただし、円周率は3.14とします。

- (1) (操作 1) をおこなうとき、正方形 ABFE が通過する部分の体積は何 cm³ ですか。
- (2) (操作 1)~(操作 4)をこの順に続けておこなうとき、立方体 ABCD-EFGH は元の位置に戻りますが、頂点は元の位置とは異なるものがあります。たとえば、頂点 F は頂点 (アー)の位置に、頂点 G は頂点 (イー)の位置にそれぞれ移ります。
- 一方、頂点(ウ)は4つの操作後に元の位置に戻ります。(ア)と(イ)にあてはまる頂点を、A~Hの中からそれぞれ1つずつ選びなさい。また、(ウ)にあてはまる頂点を、A~Hの中からすべて選びなさい。
- (3) (操作 1) \sim (操作 4) をこの順に続けておこなうとき、直線 FG が通過する部分の面積の総和は何 cm²ですか。

【式と考え方】

(1)			
(2)	ア	1	ウ
(3)			